

家庭

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図りそれらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

児童の状況

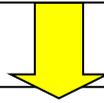
- 料理や手芸等に関心をもっている児童が多く、調理や生活に役に立つもの作り等の実習に意欲的に取り組みます。
- 家庭生活の中で多岐にわたる実践的・体験的な活動をする経験値の差がある。

指導についての課題

- よりよく生きるために生活を改善し、家庭生活の質を高めようとする意識を育てること。
- 基礎基本をしっかりと押さえながら、実習を通して様々な経験を積ませると。

◎授業革新推進に向けての具体的な方策

- 児童が家庭生活を改めて見つめ直し、家庭生活への関心を高めることで、家族の一員として成長する自分を肯定的に捉えられるように支援します。
- 様々な実習を経験することで、自らが生活の中で「やってみよう！」という意欲と、知識や技能を高めます。



- ・衣食住や家族の生活に着目し、家庭生活が自分自身の問題として関心をもって考えられるような学習内容を取り入れます。
- ・学習した知識や技能が実生活の場で生かせるように、実践的・体験的な学習の場を多く取り入れます。
- ・実習等の学習においては、計画段階で児童の実態に合っているかを確認し、無理なく実習が進められるよう、できるだけ複数指導者を配置した計画を立てます。
- ・食育の推進のため、食事の役割や栄養を考えた食事のとり方、調理などの学習を実践します。
- ・「ワークシート」や「実践カード」等に、自分の考えや意見を書かせるようにします。
- ・児童が活動している時に、効果的に個別指導ができるようにします。
- ・学年だより、保護者会などで、家庭に協力を呼びかけ、家庭との連携を図ります。

◎言語活動の充実

- ・衣食住など生活の中の様々な体験を、自分たちの言葉でまとめる活動を取り入れることによって、体験と言葉とが結び付いた実感を持った学習を充実させます。
- ・自分の生活における課題を解決する能力を育成するために、衣食住などの生活上の課題を、言葉や図表、概念などを用いて自分の考えを説明したり、表現したり、みんなで話し合ったりする学習活動を充実させます。

◎その他（補充・発展指導計画）

- ・必要に応じて、授業以外の時間（休み時間や放課後）に個別指導を行います。